



希望記事

・良い睡眠のとり方について、取り上げていただけると幸いです。
【40代・男性】

睡眠は健康の三大要素「食事」「運動」「睡眠」の一つですので、来年度以降の企画の際にテーマとして検討してみます。

・BCP・BCMに関する考え方や事例。昨今はワーク・ライフ・バランスからワーク・ライフ・マネジメントという考え方に変わってきているとのことで、周囲や自らが仕事と家庭を両立するためにマネジメントするという考え方について、事例や視点など記事として掲載していただければありがたいです。
【50代・男性】

BCPは事業継続計画、BCMは事業継続マネジメントのことですね。本誌では現在のところBCPとBCMをテーマとして取り上げる予定はありませんが、ワーク・ライフバランスに関しては、今年度のうちに取り上げる予定です。その際、多少でも盛り込めないか検討してみます。

・公務員の定年延長法について詳しく知りたい。
【50代・男性】

何か動きがありましたら、TOPICSのコーナーで取り上げます。

・見開きページで、イデコである投資信託等を実際に積み立てていった際の積み立て金額の変遷を、毎号継続して掲載していただければどうかと思った。
【40代・男性】

おもしろいご提案をいただき、ありがとうございます。

・自分の年代は、定年から65歳の年金受給までのギャップをどうするかが大問題です。普通は継続雇用など「長く働く」ことが推奨されますが、それ以外の生き方について取り上げていただけると参考になります。
【50代・男性】

「NEXT STAGE」退職者への質問状」のコーナーでは、これまで40名以上の方の定年後のライフスタイルをご紹介してきました。その中では、定年後に「働く」以外のライフスタイルを選択された方もいらつしました。当コーナーは今後も続けていく予定です。そこから何かご参考になる情報を見つけていただければと思います。

・近年、雑誌等でも取り上げられている、経済的独立と早期リタイアを目指す「FIRE運動」に関する記事を掲載してほしいです。
【40代・男性】

FIRE (Financial Independence, Retire Early)とは投資などにより収入を確保し、若くして仕事を引退することですね。アメリカの若者の間から広がった動きようですが、資産運用に積極的で知識も経験もあるからこそ実現できているように思います。なお、今号のANOTHER ACTIVITYのコーナーでは、50歳を前にセミリタイアして、里山でボランティア活動をされている方の体験談を掲載しています。ぜひご覧ください。

・老後のライフプランとしてのご近所との付き合い方、町会との付き合い方を模索しています。皆さんは、どのように考え、行動しているのかを知りたいです。
【50代・男性】

これからの時代、老後に限らず、地域社会の存在感は増していくものと思われれます。本誌昨年度のシリーズ「出会いを生かす人付き合いのヒント」では、143号と144号で地域社会との関わり方についても取り上げています。何かヒントが見つかれば幸いです。

・民法親族編が改正されたので、相続に関する知識を「更新」する記事も必要か。さらに、家族の形態が昔とはずいぶん異なる今世紀の日本では、タテなしのヨコの相続や、法定相続人なしというケースも珍しくなくなるだろう。遺言も含め、自分なりに納得できる財産の死後の帰属について考えさせる記事も有意義かと。【50代・男性】

確かにそうですね。相続を取り上げる際ヒントにさせていただきます。

・40代、50代からでも出来る資産運用など。【40代・女性】

本誌昨年度のシリーズECONOMY「45歳・投資経験ゼロからの老後資金のつくり方」をぜひ一度、ご覧ください。

その他ご意見

・CAREER「モデル無き時代のキャリアデザイン」は、今の若い方に意識してもらいたいことが書かれており、勉強になりました。今、59歳。若かりし頃のバブル時代に「ライフプラン」という言葉をもっと意識できていたらとも思いながら、ぜひ、貴誌の訴えが多くの人に届くようにと願っております。【50代・男性】

ライフプランは若いうちから始めることが大切です。そのことを多くの方に知っていただけのように、今後も努めてまいります。

・キャッシュレス社会に抵抗を感じていましたが、ECONOMY「加速するデジタル化」の記事は分かりやすく、抵抗がなくなるかもしれません。【70代・男性】

最終回までお読みいただいた後の感想を楽しみにしています。

・INTERVIEWのいとうまい子さんの記事は、恩返しが動機になったという、その意識の奮い起こしが素晴らしいと思いました。自分の場合の大学は就職前の通過儀礼でしかなく、そこで何を学びたいというのが明確ではありませんでした。大人になってから、学びたいを明確にして学び直すということに勇気づけられます。リカレント教育、そして変化に対応し得るレジリエンスな能力開発⇨転身力⇨プロティアン・キャリアという考えを捉えています。【30代・男性】

・今号も学びの大切さを痛感させられました。いとうまい子さんの記事では45歳からの学びや人生は後半戦が勝負だということ、また、CAREERのプロティアン・キャリア論では組織が守ってくれる時代は終わり変幻自在なキャリアが重要であるなど人生100年時代を生きるための情報満載でした。50代、よいしやるぞ。【50代・男性】

「年を重ねることに人生が楽しくなっている」。そんな言葉が出てくるところに、充実した日々が伺える気がしました。笑顔も素敵でしたね。

・ECONOMY「介護と家計を考える」の記事を大変興味深く読みました。以前から、介護のことについて不安で、勉強しておかなければと思いつつも、どこから手を付けていいかわからない状態でしたので、このような記事を待っていました。今回第1回とのことでしたので、今後を期待しています。【50代・女性】

・「介護と家計を考える」第1回、大変勉強になります。40歳から負担している介護保険料。給料天引きで毎月支払っているものの、内容について、これまで全く勉強していないことに気付かされました。今回の記事で、65歳未満の場合、特定の疾病しか適用されないことを初めて知りました。これからのシリーズ、期待してまいります！【50代・男性】

介護はまだ先のことと思っていたら、突然やってきたということもよくあります。いざという時にあわてないよう、知識の蓄えが必要ですね。



・身体の各部位の老化の知識はとても参考になります。今月号のHEALTH「口も老化する！」という記事は大変興味深く読みました。【60代・女性】

歯の本数だけでなく、口内環境全体を含めて加齢による影響があり、しかも、糖尿病とも相互に影響し合っているとは意外でした。

・通信員からの声は、読者の年代層が把握できて、よかった。私は、定年退職して3年目。もっと早い年代に、「この情報誌に出会って良かった。内容は、これからも参考になるものばかり。ネットでも閲覧できそうなので、ずっと読み続けたいと思う。【60代・男性】
・最近「人生100年」と、良く聞くようになりました。実際に自分はそこまで生きるのか？ それまで健康でいられるのか？ はたして、生活資金は足りるのか？ 100年でなくとも、これらの不安は漠然とあります。ALPSを読むことで、一つでも自分の将来に役立てていきたいと思っています。【40代・女性】

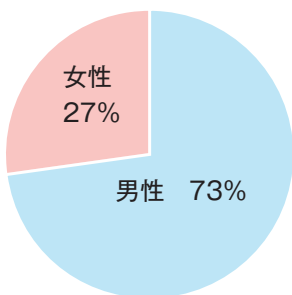
皆さまに「あのときあの記事を読んでおいて、よかった」と思っていただけのような情報提供ができれば、こんなに嬉しいことはありません。なお、令和3年度の通信員の方の年代層については、下記に掲載しましたので、ご覧ください。

・生活環境、就業についての最新の知見や具体例は書籍化されている例がほとんどなく、とても参考になりました。どうぞ今後書籍化されていない生の情報を取り上げていただければ幸いです。【60代・男性】

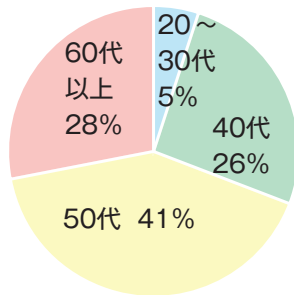
本誌ではライフプランを家計に限らず、健康づくりやキャリア、生きがい、家族も含めて大事な要素だと捉えて、誌面づくりをしています。お付き合いのほど、よろしくお願いたします。

令和3年度 通信員の属性データ

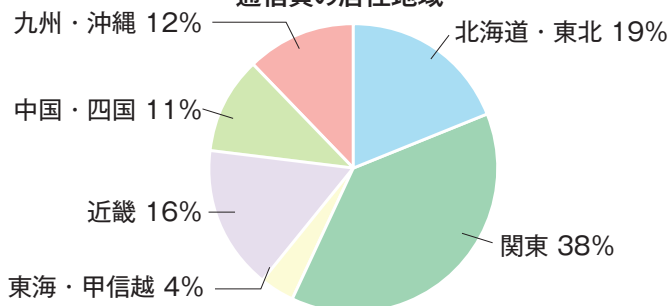
通信員の男女比



通信員の年齢構成



通信員の居住地域



通信員からの評価が高かった記事

当誌では、通信員の方に毎号、各記事について「とても良かった」「良かった」「ふつう」「あまり良くなかった」「良くなかった」の5段階評価をしています。ここでは「ALPS」145号の中で「とても良かった」「良かった」の評価が多かった記事の上位をご紹介します。

● 1位…ECONOMY 加速するデジタル化。
現金からキャッシュレスの時代へ
宮田 健

● 2位…INTERVIEW
45歳からの「学び」、で開いた新しい扉
いとう まい子さん

● 3位…HEALTH
口の老化と、思いもよらないその影響
服部 佳功